

会 議 録

会議の名称		令和8年度第1回 高山学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和8年(2026年)5月1日(金) 開会 17:00 閉会 18:30		
開催場所		かとりだい交流館		
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	飯野 誠一、山本 敦之、清水 健、染谷 郁夫、大野 宏之、 黒田 直美、吉岡 誠生、中川 元、青木 真矢、 高山中学校 校長：富永 正弘、教頭：福原 秀喜 真瀬小学校 校長：高橋 正典、教頭：松浦 一彦 島名小学校 校長：矢口 雅義、教頭：川田 玲美 香取台小学校 校長：大高 純子、教頭：福田 真也 (以上、敬称略)		
	その他			
	事務局	教育局生涯学習推進課 教育局長：久保田 靖彦、課長：澤頭 由紀子 参事：山口 健次、係長：松橋 千栄 社会教育主事：柴崎 英二 地域連携教育指導員：酒井 和宏		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	1人
非公開の場合はその理由				
議題		熟議「地域と学校の連携事業2年目の計画と具体的なアクションの共有」		
会議録署名人		確定年月日		年 月 日
会議次第	1 開会 2 任命書交付 3 委員自己紹介 4 説明事項「つくば市コミュニティ・スクールの重点項目について」 5 会長・副会長の選出 6 協議 (1) 学校運営の基本方針について (2) 熟議「地域と学校の連携事業2年目の計画と具体的なアクションの共有」 (3) 令和7年度地域と学校の連携事業予算決算報告及び令和8年度予算計画について 7 その他 ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について 8 閉会			

<審議内容>

- 1 開会（事務局：福原委員） *書記選出：松浦委員→承認
- 2 任命書交付（福原委員）
 - *任命書・委嘱状の交付と以下の2点の説明
 - ① 非常勤特別職として任命される。（任期は今年度末まで）
 - ② 守秘義務等の責務がある。
- 3 委員自己紹介（福原委員）
 - *真瀬小→島名小→高山中→香取台小の順で自己紹介
- 4 説明事項（生涯学習推進課柴崎社会教育主事）
 - *「つくば市コミュニティ・スクールの重点項目」について、柴崎社会教育主事から説明
 - ① 「つくば市が目指すコミュニティ・スクール」
 - ② 「令和8年度の重点項目」
を中心に、資料「つくば市コミュニティ・スクールの進め方」を使いながら、本市の目指すコミュニティ・スクールの在り方について、説明。
- 5 会長・副会長の選出（福原委員）
 - *選出について、つくば市コミュニティ・スクール協議会に関する規則の第5条第2項「会長及び副会長は、委員の互選により定める。」から進める。
 - ① 立候補者なし→昨年度に引き続き、会長を山本敦之委員に、副会長を中川元委員にお願いしたいと提案
 - ② 異論なし→山本会長、中川副会長の承認をいただく
 - ③ 会長・副会長自己紹介→会長挨拶
 - ・昨年度は「今の世の中がどうなっているか」「子どもたちの未来についての懸念事項」などについて共通認識をもった。コミュニケーション能力の育成が重要になる。
 - ・今年度は「コミュニケーション能力」向上に向け、さらに学びを深めていきたい。
- 6 協議
 - (1) 学校運営の基本方針について
 - *各校「グランドデザイン」の説明のなかで、下記の点を強調。
 - ① 真瀬小（高橋委員）
 - ・創立150周年行事の成功と校務DX、働き方改革の推進

- ② 島名小（矢口委員）
 - ・学校教育目標「三つの笑顔で 楽しい学校」
 - 「三つ～」とは児童、教職員、保護者（地域）
- ③ 香取台小（大高委員）
 - ・教職員の平均年齢が30代→教職員も失敗を恐れずにチャレンジ
- ④ 高山中（富永委員）
 - ・「目指す生徒像」を「チャレンジ 学び つながり」から、「学び つながり チャレンジ」へ変更→「まずは授業（からの学び）」を大切にしたい
- ⑤ 質疑応答（山本会長）→なし→グランドデザインの承認
- 高山中学校「職場体験学習」について（富永委員）
 - ・対象は8年生で、夏休み中の実施を検討中
 - ・久々に再開予定も事業所不足→近隣で受け入れ可の事業所を紹介してほしい。
- (2) 熟議「地域と学校の連携事業2年目の計画と具体的なアクションの共有」
(各校)
 - *各校で協議→協議内容を発表（各校教頭）
 - ① 真瀬小
 - ・創立150周年記念行事、奉仕作業の運営費
 - ・学園あいさつ運動や「あいさつフォーラム（仮）」の運営費
 - ② 島名小
 - ・（地域の方をゲストティーチャーとして）米づくり体験と「感謝の会」の運営費
 - ・今年度は防災体験の実施も検討中
 - ③ 香取台小
 - ・「未来キャンパス」として、防災キャンプを実施
 - ・今年度は筑波大生とのつながりを模索し、スポーツでの交流を検討中
 - ④ 高山中
 - ・学園の様子について情報共有（昨年度の事例を聞く。）
 - ・「（生徒、保護者、地域の）つながり」を大切にしていきたい。
- 7 その他（①柴崎社会教育主事、②福原委員）
 - ① CSアンケート、新任委員向けのYouTube動画、teamsを活用した連絡手段の構築、欠席者への対応
 - ② 次回開催予定日
- 8 閉会（福原教頭）

令和8年度 第1回高山学園コミュニティ・スクール協議会

日時：令和8年5月1日（金）

17:00～

場所：かとり台交流館 会議室1

次 第

- 1 開会
- 2 任命書交付
- 3 委員自己紹介
- 4 説明事項
つくば市コミュニティ・スクールの重点項目について
- 5 会長・副会長の選出
- 6 学校運営の基本方針について
 - ・各校のグランドデザインの説明
 - ・高山中職場体験学習について
 - ・地域と学校連携事業 R7年度決算報告及びR8年度予算計画
- 7 熟議
テーマ「地域と学校の連携事業2年目の計画と具体的なアクションの共有」
- 8 諸連絡
 - ・コミュニティ・スクール推進会議の今後の予定について
- 9 閉会

令和8年度
つくば市立高山中学校 グランドデザイン



校訓

至誠

勤労

協和



茨城県教育目標
・ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
・じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
・郷土を愛し協しあう心を育てる

高山学園教育目標
元気なあいさつ 深い学び 伸びる学園・学校
学校教育目標
自らを信じ 豊かな心で
たくましく生きる生徒の育成

つくば市教育大綱
一人ひとりが幸せな人生を送るために
・教えから学びへ
・管理から自己決定へ
・認知能力偏重から非認知能力の再認識へ

組織目標: 自ら高めよう とともに高め合おう

目指す生徒像

学び つながり チャレンジ

- ・「わかる喜びと学ぶ楽しさ」を実感する生徒
- ・自ら「問い」を見出し、自ら学び、学びの成果を発信・共有できる生徒
- ・自分の意見や考えを、相手意識・目的意識をもって伝えることができる生徒
- ・お互いのよさや違いを認め合い、協力し、ともに生きようとする生徒
- ・多様な考えを尊重し、合意形成を図りながらよりよい社会をともに創ろうとする生徒
- ・将来の夢や目標をもち、自分の可能性を広げること挑戦し、自律的に判断し行動する生徒

○「自己決定の場」の提供と「認められる場所と環境」の設定 ○対話的な活動の充実
○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 ○ICTの効果的活用
○単元を通じた探究的な学びのデザイン ○いじめのない安全・安心な学校風土の醸成

人権教育の推進

目指す学校像

- ・「わかる喜び」にあふれ、生徒の「生きる力」を育む特色ある教育活動を展開する学校
- ・心理的安全性が確保され、失敗を恐れず挑戦できる安心・安全な学校
- ・小中学校教育の系統性を重視し、小中一貫教育を推進する学校
- ・学校・家庭・地域が一体となり、互いに信頼し、子供の学びを共に支え合う学校

目指す教師像

- ・一時間の授業に全力を注ぎ、生徒とともに成長し続ける教師
- ・「子供が主役」の学びを支え、生徒の可能性を最大限に引き出す教師
- ・「チーム高山」の一員として、使命感をもち互いに相談・連携し合う教師
- ・業務の効率化を図り、働き方改革を押し進めることで、心身の健康と情熱を維持する教師

高山学園学校運営協議会



高山学園つくば市立真瀬小学校GD



茨城県教育目標

- ・ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- ・じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- ・郷土を愛し協力し合う心を育てる

すべての子どもの可能性を引き出す
活カある学校づくり

つくばで目指す考え方の転換

- ・「教え」から「学び」へ
- ・「管理」から「自己決定」へ
- ・「認知能力偏重」から「非認知能力の再認識」へ

みんなが幸せを実感できる
学園・学校・幼稚園

<真瀬小 学校教育目標>

笑顔いっぱい 学びいきいき 楽しい学校

R8 真瀬小の目標(重点)

絆づくりの推進

「互いを認め協働し前進できる環境づくり」

思いやりの心の育成

「学校生活が楽しいを創る」

楽しい授業づくりの推進

「学びが楽しいを創る」

大切にしたいことば
「おはよう」「ありがとう」「だいじょうぶ」

考えをもち、挑戦し、
互いを尊重する

大切にしたいこと

- ・「互いを尊重すること」
- ・「熱心であること」
- ・「強みの発揮」
- ・「まずはやってみよう」

☆体験、活躍の場の創出☆

- ・体験活動の充実
- ・特別活動の充実

見つけ、ささえ、つなげ、伸ばす教育活動

☆考える、学ぶ場の創出☆

- ・授業デザイン研修
- ・特別支援教育の理解と実践の充実
- ・人権教育の展開

自己存在感の感受

共感的な人間関係

多角的に捉え、本質を見極め、迅速に動く

☆心理的安全性の構築☆

- ・危機管理体制の日常確認
- ・相談、協働できる集団づくり
- ・職務を通じた資質向上

自己決定の場

安心安全な風土の醸成

安心して働ける職場環境と働き方改革の加速化

- ・校務DXの推進
- ・校務分掌の平準化
- ・風通しの良い職場作り

地域資源を活用し
未来を創造する

☆家庭・地域とつながる☆

- ・地域人材の活用
- ・保護者との連携強化
- ・150周年を生かした教育活動
- ・CSによる教育活動の展開

学び込む姿の実現

校内研修テーマ

「学びたいことが学べる」授業の展開と
児童の学びの幅広げる指導の在り方
～問いの工夫や対話を通して～

社会に開かれた教育課程

「考え」「つなげ」「深める」

『真瀬を知る』
『自分を知る』
『人と郷土を愛する』

真瀬小にかかわるすべての人の幸福のために ～真瀬の歴史に感謝し 今を大事に 未来へおぼたく～



令和8年度(2026年度)島名小学校グランドデザイン ～三つの笑顔で 楽しい学校～



校訓: 強く 正しく 美しく



心豊かに 自ら学び たくましく歩む

社会の変化に柔軟に対応し、友人と協力しながらたくましく生きる児童を育成します。

高山学園教育目標



元気なあいさつ・深い学び・伸びる学園

つくば市の教育大綱を基に、一人一人が幸せな学校生活を送れるよう支援します。

一人ひとりが幸せな人生を送るために

めざす学校像

**児童が生き生きと活動し
信頼される学校**

安心安全が保障され、すべての児童が楽しく生き生きと活動できる学校教師を目指します。



すべての教育活動を通して、児童一人一人の自己実現と幸福な人生の基礎をつくることを究極の目標とします。

めざす教師像

**明るくやさしく、
能力を伸ばす教師**

意欲的で児童一人一人の能力を伸ばし、児童や保護者から信頼される教師を目指します。



教育の3つの視点(転換)



教えから



学びへ

教師が一方的に教えるスタイルから、児童が主体的に「問い」をもち、自ら探求する学びのスタイルへと転換します。



管理から



自己決定へ

与えられたルールではなく、児童が自ら考え、判断し行動できるように、選択、試行錯誤の機会を保障します。



認知能力偏重から



非認知能力の再認識へ

知識や技能の習得だけにとどまらず、粘り強さや批判的思考、他者との協調性といった「生きる力」の根源となる能力を重視します。

めざす児童像

**よく考え、思いやりがあり、
たくましい子**

自ら学び、人と関わり合い
心身ともに健康で明るい
児童を育てます。



**すすんで学ぶ子：
【自己調整学習】の推進**

自己調整学習 探求的な学び
「問い」から始まる学び
個別最適・協働的な学びの往還
ユニバーサルデザインによる授業づくり



**思いやりのあるやさしい子：
自立と共生**

主体的なルールメイキング活動
インクルーシブ教育の推進(学びの場の検討)
学級づくり、異学年交流を通じた集団作り
人権教育(いじめゼロ)



**健康でたくましい子：
挑戦と体力向上**

体力向上と生涯スポーツの基礎作り
挑戦し続ける心身の育成
規則正しい生活習慣と食育
防災教育と危機管理能力の育成

三つの笑顔(めざす児童像と具体的活動)



学校の基盤



**教職員の
「働きがい改革」の推進**



Well-Beingの実現
学校マネジメントの見直しによる業務改善
全職員が超過勤務時間30時間以内を実現

コミュニティ・スクールの推進



「地域とともにある学校」の実現
地域人材や地域資源の活用による体験的活動
教育理念と学校評価の共有

安心・安全な学校づくり



安全環境整備と自己管理能力の育成
多様な学びの場(Sルーム)等の心の安定の確保
学級経営の充実による自己肯定感の育成
教育相談の充実



令和8年度 つくば市立香取台小学校グランドデザイン

茨城県教育目標

ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し
協力し合う心を育てる

つくば市が目指す学園・学校像

みんなが幸せを実感できる学園・学校
～自己実現できる学校
みんなで支え合い、
みんなが生き生きした学校～

つくば市教育大綱 3つの柱

教えから学びへ
管理から自己決定へ
認知能力偏重から
非認知能力の再認識へ

高山学園架け橋プログラム

自分や友達によさに気づき
認め合える子ども

令和8年度 目指す児童像

○自分の強みを理解し、人生の舵を取ろうとする子
○他者との違いを認め、応援し合い、協力できる子
○地域社会をよりよくしようと行動する子

高山学園教育目標

元気なあいさつ 深い学び
伸びる学園・学校

一斉・一方向授業からの脱却と
対話を意識した
授業の展開

児童が主導する行事や活動の充実

自分たちでルールを作る経験の保障

「管理」から「自己決定」へ(環境の改革)

挑戦を応援し、
やってみようと思える心理的安全性の高い学級
学校の構築

組織目標

自己決定と 対話で創る 幸せな学校

「教え」から「学び」へ(学習の改革)

「認知能力」から「非認知能力」へ(資質の育成)

単元全体を見通した
探究的な学びの
充実

子供も大人も
誰もが
失敗を恐れ
ず挑戦する
文化を醸成

問い続け
学び続ける
伴走者集団

多様性に対応し、
特別支援教育等
の視点を取り入
れた学級経営の
充実

香取台小学校教育目標 協学 協創 協和
～ともに学び ともに創造し ともに心を合わせる～

◎パフォーマンス向上を図る働き方の推進

- ・自分の意見を言える職場環境づくり
- ・自分事として捉えられるコンプライアンス研修の充実
- ・休憩時間の意識化と適正化に向けた勤務時間改善

◎コミュニティ・スクールの推進

～方向性の探索に向けた地域との対話～

- ・地域人材を活用した学校教育の充実
- ・教育課程の整理と発信